

第7回シティネット総会について（報告）

このたび、4年に一度のシティネット総会が大韓民国ソウル特別市で開催されましたので、その結果を下記の通り報告いたします。

横浜市に対するシティネット会員からの高い期待に応えていくため、横浜市は名誉会長及び実行委員、防災クラスター議長として、今後もシティネットに対し、実質的な協力・貢献を継続していきます。

1 第7回シティネット総会概要

- (1) 日 程： 平成 25 年 11 月 4 日（月）
（総会と併せて、第 30 回実行委員会（11/3）、第 31 回実行委員会（11/6）を開催）
- (2) 場 所： 大韓民国 ソウル特別市
- (3) 出席者： シティネット会員（44 都市 18 団体）、関係国際機関 等 約 200 名

2 横浜市にとっての主な成果

- (1) **名誉会長への就任**（11/3 第 30 回実行委員会で推薦⇒11/4 第 7 回総会で承認）
「Yokohama President Emeritus」（名誉会長）への就任が**満場一致で承認**された。
- (2) **実行委員への就任**
11/4 第 7 回総会で、実行委員の定数 9 席を 13 の候補者（6 正会員、7 準会員）で選挙した結果、**トップで当選（出席 62 会員中 55 会員が本市に投票）**。
- (3) **防災クラスターの議長への就任**
11/4 総会と併せて開催されたクラスター会議にて、議長に選出された。

クラスターとは、シティネットの会員によって4年ごとに決定される活動分野で、シティネットの活動の中心。現在は地球温暖化対策、防災、インフラ、ミレニアム開発目標、の4つのクラスターがある。

3 その他、主な決定事項

- (1) 新しい執行体制
 - ・会長：ソウル特別市
 - ・副会長：バンコク都（第一副会長）、マカティ市（第二副会長）
 - ・実行委員：6 正会員（横浜、スラバヤ、釜山、コロンボ、北ダッカ、仁川）
3 準会員（リヨン大都市圏、他 2 団体）
- (2) 2014～2017 中期計画
「公正な社会、持続可能な環境、政治参加、経済の生産性、活気ある文化および世界とのつながりを実現した人々に優しい都市」を今後 4 年間の目標に定めた。

シティネット（アジア太平洋都市間協力ネットワーク）の概要

(Regional Network of Local Authorities for the Management of Human Settlements)

1 目的 アジア太平洋地域の都市問題の解決・改善に向け、都市・NGO の相互理解を深め、ネットワークを活かした協力を行う。

2 会員と構成（平成 25 年 11 月 6 日現在）

会 長：ソウル特別市、 第 1 副会長：バンコク市、第 2 副会長：マカティ市

会 員：24 か国・地域 135 会員（86 都市、49 団体）

実行委員：横浜市、スラバヤ市、釜山市、コロンボ市、北ダッカ市、リヨン市、仁川市
居住権のためのアジア連合（ACHR）、ネパール地方自治体協議会(MuAN)

事務局長：ビジェイ・ジャガンナサン氏（元世界銀行職員）

監 査 役：ナガ市

3 シティネットの活動

- (1) セミナー・ワークショップの実施
- (2) 専門的な指導・助言事業(専門家派遣を含む)
- (3) 研修・視察・調査研究の実施
- (4) 最良事例の紹介・広報
- (5) アジア太平洋地域のデータ・バンク（都市情報、専門家人材情報など）
- (6) 各種国際会議・研修への会員参加支援
- (7) ニューズレターの発行

4 シティネットへの本市の支援の具体例

- 本市専門家派遣による会員都市の都市問題解決に向けた取組支援
平成 7 年度より、毎年、防災・上下水道・環境政策・都市計画等に関する専門家をバンコク、マカティ、ハノイ、プノンペンといった都市に派遣：計 33 件（24 年度末実績）
- 会員都市からの研修生受け入れによる技術協力
シティネット会員を対象とした水道技術研修を平成 11 年から毎年実施しのべ 35 人を受入。
- 災害復興のための、会員都市と連携した技術協力
スマトラ沖大地震・インド洋津波被災地復興支援、パキスタン等大地震被災地復興支援等